看護にいがた

公益社団法人
新潟県看護協会機関誌

2024 Vol.157
2月20日発行

新潟県看護協会会員数
■保健師……814名
■助産師……602名
■看護師……14,195名
■准看護師……443名
●会員総数……16,054名
〈令和6年1月15日現在〉

Series
つながる・ひろがる・たかめる
専門性の高い看護

Contents

02 新潟県看護協会看護学会
03 特別講演・教育講演・交流集会
04 つながる・ひろがる・たかめる専門性の高い看護
05 認定看護管理者教育ファーストレベル研修を受講して
06 訪問看護推進課より
07 訪問看護の魅力を語る
08 令和5年度 未就業看護職員実態調査（速報）
09 秋の瑞宝双光章受賞／令和6年度予算に対する要望書
プラチナナースの集い
10 ホームページアンケート調査結果報告／奨学金のご案内
11 教育研修課からのお知らせ
12 ナースシップよりお知らせ

2023年度 新潟県看護協会看護学会

テーマ 「つながりが生みだす看護の力

●**日時**：2023年11月30日　●**方法**：現地参加・ライブ配信
●**会場**：朱鷺メッセ・看護研修センター　●**演題**：口演13題

学会委員長 新潟大学医学部保健学科　井上 智代

2023年度の本学会は、朱鷺メッセ会場と新潟県看護協会の2会場で開催し、現地開催とライブ配信のハイブリッド方式で開催されました。当日は少し寒さを感じる1日ではありましたが、前年度を超える参加者数となり、盛会のうちに終えることができました。

特別講演では永寿総合病院看護統括部長大柴幸子先生、永寿総合病院柳橋分院看護部長武田聡子先生のお二人から「アウトブレイク　こうして私たちは看護を守った」と題してご講演いただきました。療養生活を支えるプロとして、患者が安心して医療・ケアが受けられる場を提供する、看護師をいかに守るのかなど、経験したからこそ伝えられる「看護の底力」についてお話をいただきました。また、教育講演では生きいき診療所・ゆうき院長荒井康之先生に「暮らしを豊かにする医療・ケア～在宅医療の立場から看護職に期待すること～」と題してご講演いただきました。在宅医療について「望む人誰もが、望むように過ごせることができる医療」であることを具体的な事例を通してわかりやすく説明していただき、そこにはCareとCureのバランス感覚が優れる看護職はとても重要な職種であることをお話していただきました。

朱鷺メッセ会場では、13の演題発表がありました。今年度から「研究指導」から「査読方式」に変更いたしましたが、とても洗練されたものでした。看護系大学の先生方には、大変お忙しい中、論文の査読をしていただき、本日の座長の先生方からは、的確で建設的な質問等をしてくださるとともに、スムーズな運営にご尽力していただきました。大変有意義な場となりましたのは皆様のご協力によるところが大きく、心より感謝申し上げます。一方、新潟県看護協会会場においては「人材育成～地域で育てる取り組み～」をテーマに交流集会が行われました。また、「看護職能連携での期待と課題」をテーマにセッションが行われ有意義な意見交換が行われました。

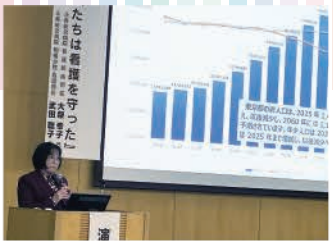
今回の学会テーマは「つながりが生みだす看護の力」をテーマでしたが、いかがでしたでしょうか。新潟県看護協会担当理事をはじめ役員の皆様のお力添えを得て企画してまいりました。大きなトラブルもなく、最後まで執り行うことができましたことを心よりお礼申し上げます。

特別講演：大柴幸子先生（前列左から3人目）
武田聡子先生（前列左から2人目）と学会関係者

教育講演：荒井康之先生
（前列左から5人目）と学会関係者

会 場　朱鷺メッセ

特別講演
アウトブレイク こうして私たちは看護を守った



大柴 幸子
永寿総合病院看護統括部長

武田 聡子
永寿総合病院柳橋分院 看護部長

●5類に変更になり、あの頃感じた怖さが薄れてきている状況ですが、報道番組などで目にしていたクラスター対応にあたられていた方のお話は想像を超える内容でした。看護師たちの異変を感じていても行動できないもどかしさ、逃げ出したくなる気持ちを想像すると涙が出そうになりました。

♪参加者の声

●凄まじい様子が伝わってきました。それと同時に看護の力の凄さも感じました。現場では、まだ通常に戻せない日々が続いています が、根気強く頑張りたいと思いました。

教育講演　暮らしを豊かにする医療・ケア
～在宅医療の立場から看護職に期待すること～

新井 康之 いきいき診療所・ゆうき院長

♪参加者の声

●感動しました。こんな先生と仕事ができたら幸せだろうなと感じました。まずは看護師の意識改革からと思います。

口演13題

●コロナ禍での家族とのつながりへの工夫、勉強会など知識を深めるための取り組みなど興味深い内容でした。

♪参加者の声

●各々の組織の課題解決に向けた取り組みであり、この様な地道な活動が看護の質向上につながると思いました。

会 場　看護研修センター

交流集会　人材育成～地域で育てる取り組み～

専門看護師・認定看護師教育課程の開校状況と、有資格者が地域で活動していく基盤づくりの取組について、5人の方からご発表いただきました。

小山　諭
新潟大学大学院保健学研究科
教授

中村 悦子
長岡崇徳大学客員教授

石田 和子
新潟県立看護大学看護学
研究科教授

中條 恵子
新潟県立十日町病院
看護部長

廣田 光恵
厚生連糸魚川総合病院
看護部長

セッション
看護職能間連携での期待と課題
〈住民が安心して生活できる地域包括ケアを実現するために職能の理解を深める〉

●地域で働く看護職と、病院で働く看護職のそれぞれの思いを聞くことができ、具体的な連携の方法などとても参考になりました。

♪参加者の声

司会：平澤 則子
長岡崇徳大学教授

専門性の高い看護師へ期待すること

新潟大学医歯学総合病院
看護部長 白砂 由美子

私たち看護を取り巻く環境は大きく変化しています。医師の働き方改革や2040年問題など大きな問題がさし迫っています。社会福祉や医療体制が大きく変化する中、安全で安心な医療を提供するため、専門性の高い看護職の育成と実践環境の整備は看護管理者として重要な責務であると考えております。

新型コロナウイルス感染症による危機的状況の中、感染やクリティカル領域の認定看護師をはじめとした看護の力がより大きく評価されました。また、医師の働き方改革に伴い、タスクシフト・シェアなど看護職の裁量発揮が求められています。

当院では専門看護師、認定看護師、特定看護師が病院内外において自律的に活動しております。専門外来での実践や、多職種とのチーム活動、特定行為実践、院内外での研修企画、講師など多くの役割を担っています。臨床推論に裏づけられた実践や知識は周りのスタッフに大きな影響力を発揮しています。

看護管理者として、専門性の高い看護師の皆さんに期待することは、自らの行う「看護」について、意図的に言語化し、看護師のみならず医療チーム全体に発信してほしいと思います。その言葉、行動それこそが、次世代の専門性の高い看護師の育成につながっていくものと実感しています。さらに、自施設にとどまらず、専門性の高い看護師間でネットワークを構築し協働していくこと、地域・社会に貢献することで、看護の専門性が世論に認識されると期待いたします。

一方で、看護管理者はその活動を組織的に支えていく体制整備を構築する必要があると考えます。実践の支援体制整備、専門領域での活動時間の確保、効果的、戦略的な配置など急がれる課題です。看護管理者の責務として専門性の高い看護師が役割発揮できるための体制の整備、人材育成に取り組んでいきたいと思います。

特定行為：呼吸器関連の実際

スタッフへの指導も
大切な役割の一つです

新潟大学医歯学総合病院
①病床数827床　②専門看護師4名　③認定看護師14名
④特定行為研修修了者4名／特定行為研修受講者6名
(R5年11月現在)

専門性の高い看護師の活躍を期待して ～活躍の場を無限に広げて～

新潟勤労医療協会 下越病院
総看護師長 木津 恵理子

当院では現在、緩和ケア1名／慢性心不全看護1名／慢性呼吸器疾患看護2名、3分野4名の認定看護師が在籍しています。慢性呼吸器疾患看護の1名は更に慢性疾患看護専門看護師として院内で活動しています。

●現場での活躍

緩和ケア認定看護師は、訪問看護ステーションへ配属し在宅療養支援に携わってきました。療養者と療養者の家族を支え、医療と生活の両側面から病院、地域の医療・福祉・介護の職員と連携し活動しています。この経験を活かし現在は病院へ異動し、入退院支援センターの立ち上げ準備に力を借りています。

慢性心不全看護師、慢性呼吸器疾患認定看護師は病棟へ配属し、心不全増悪入院の患者教育の実践や現場職員への教育に携わっています。看護専門外来にて患者の個別的な相談に応じ、適切なケア方法の指導をすることで在宅療養の継続に繋がっています。

慢性疾患看護専門看護師はこれまでの経験から看護活動推進担当師長を任命し、医療連携、看護の質評価、職員教育、認定看護師管理、育成を依頼しています。認定看護師を目指し受講中の職員へのアドバイスやサポート、受験を目指す職員への受験対策に尽力しています。当法人では認定看護師、専門看護師資格取得を目指す職員に対し、研修費を助成し支援しています。どの分野の認定看護師、専門看護師も、専門的な知識を活かし各種チーム活動を牽引し、医療の質の向上と改善に取り組んでいます。

また、認定看護師、専門看護師は自らがロールモデルとなり職員との関わりのなかでリフレクションを行い実践に潜む価値や意味を見出し次の実践に活かせるように後押ししています。更に、院内はじめ院外の研修会の講師となり活躍場は地域へと広がっています。

これからも看護管理者として、看護の専門性の高い看護職員の育成と資格取得後、自施設にとどまらず、地域で活躍の場を更に広げることができるように後押しをしていきたいと思います。

笑顔あふれる認定看護師

下越病院
①病床数261床
②専門看護師1名
③認定看護師4名
④特定行為研修修了者0名

ファーストレベル研修を受講して

認定看護管理者教育課程

認定看護管理者教育ファーストレベル研修を受講して

向陽メディカルクリニック
看護師長補佐 青池 かおり

私の勤務する透析クリニックでは、看護師と臨床工学技士が協働して業務に従事しています。専門分野や教育課程の違う職種をマネジメントすることに困難を感じ、受講を希望しました。

クリニックからの参加であったため、内容を自分の環境に落とし込んで理解することに苦労しましたが、このような機会がなければ得ることのできない知識を学ぶことが出来、とても有意義な時間となりました。苦しいことも多かったですが、同じ環境で頑張っている仲間の存在に支えられました。

日々の学習ノートや小論文の作成は、「文章を生み出す大変さ」を痛感する毎日でしたが、自分の頭の中を整理し、現状を分析して理解することに役立ったと思います。

講義初日、管理者である前に、1人の看護師としての看護観をきちんと持ってくださいという先生の言葉がとても心に残っています。今回学んだ事を活かし、安全な医療を提供することが出来る職場環境を目指してこれからも頑張っていきたいと思います。

開講式の様子　緊張しています

2023年度 新潟県看護協会認定看護管理者教育ファーストレベル
7月27日～10月11日

学習の様子

俯瞰してみることの大切さ

新潟県厚生農業協同組合連合会　あがの市民病院 主任 大塚 裕美

私は主任看護師としてどのようにリーダーシップをとっていけばいいのか、全体をどう見極めていけばいいのか、日々悩みの種でした。私さえ頑張っていれば、色々な意味で我慢すれば「1日何事も起こることなく終了する」と考えていました。

部署のリーダーとしてではなく、個人プレーとなり、スタッフからも信頼してもらえないということに改めて気づかされました。グループワークでは考えを共有することができ、価値あるものばかりでした。また、目の前の問題だけを見るのではなく、鳥のように俯瞰して物事を捉えることで、問題の本質が見えてくることも学びました。「俯瞰」することは、まだまだ難しく目先のものへ走りがちです。

これからは「なぜ」を考え、行動していきたいと考えています。ファーストレベルを受講して看護管理とはどうあるべきかを考えることができました。ありがとうございました。

訪問看護推進課より

新潟県受託事業「2022年度訪問看護実態調査」の結果と取り組みについて

訪問看護推進委員会委員長 田澤 和枝
（ちいきてらす訪問看護ステーション）

本会では、訪問看護推進事業として在宅療養を支える訪問看護の体制整備に向けて様々な事業に取り組んでいます。その一つである訪問看護実態調査は1992年度から開始しました。

訪問看護の普及状況、対象者のニーズ、具体的看護内容、事業実施上の問題点等に関する調査を行い、訪問看護を実施するうえでの基礎資料の作成を目的としています。2022年度は新潟県の訪問看護ステーション、病院、診療所196施設に調査を依頼し、77.8%の回答が得られました。

❶利用者の状況について

利用者数および利用延べ件数とも増加しています。介護度の低い利用者割合が高く、介護予防・重度化防止を目的とした利用が進んでいると考えられます。

小児訪問看護は利用件数が増えるとともに「医療的ケアを必要としない小児」への訪問も多くなっています。医療面のケアだけではなく、小児の発達、家族も含めた幅広い視点でケアができるよう研修機会の確保、情報提供等、関係機関と連携した体制作りに取り組んでいく必要があります。

また精神科疾患をもつ利用者への訪問も増加し、精神科訪問看護に特化している施設も増えています。65歳以上の利用者が約1/3を占め、内科的疾患等を合わせもつ現状があるため、精神科疾患に関するケアだけではなく全人的なケアが提供できるよう、より一層質の向上が求められています。精神科訪問看護の実態把握、事例検討も含めた研修会の実施、地域における情報交換等を進めてまいります。

❷訪問看護サービスの拡充について

訪問看護ステーションにおいては施設数、従事者数ともに増加していますが、新潟圏域の施設数がその48.9%を占めており、地域間偏在が課題となっています。

小規模施設の割合は53.1%です。柔軟で適時のサービス提供が可能になる等利用者への利益、訪問看護の質向上、職員への負担軽減、安定的な事業運営、地域への貢献等を目的に、中規模もしくは大規模施設に移行できるような支援が必要であると考えます。

また設置主体も多様化しています。災害時や教育における協力体制等が強固になるよう、関係機関と連携、協働できる体制を強化していきたいと考えています。

❸訪問看護師の安定的な確保について

訪問看護を行なう上での問題として「人員不足」が多くあげられています。訪問看護師確保のためには、採用を増やすことと離職を防ぐことが重要です。ハローワークやナースセンター、行政、看護学校等と連携しながら訪問看護の魅力を伝えることに取り組んでいます。

一方、退職者の就業年数は「1年以内」の割合が高く、「精神的な健康上の理由」「家庭の事情」「訪問看護が合わない」等が退職理由となっています。各施設で工夫している柔軟な働き方への配慮や業務の負担軽減など「働きやすい職場つくり」について情報共有するとともに、訪問看護師の育成体制が整備できるよう「訪問看護師の育成体制整備支援事業」を進めています。

❹訪問看護の質向上、人材育成について

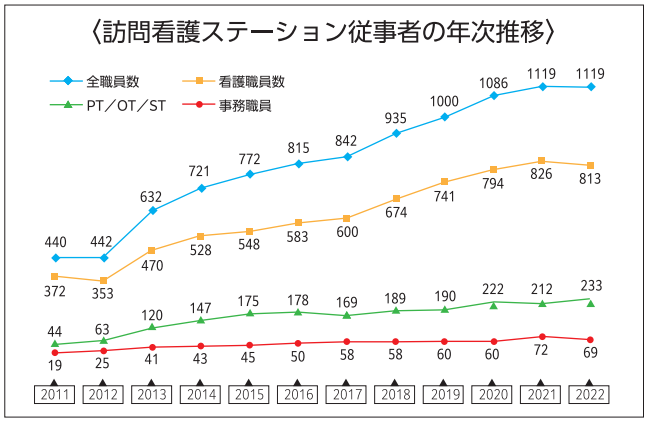
「スタッフの能力差」も訪問看護を行なう上での問題の上位となっています。研修計画のある施設は多く、専門性の高い教育を受けている看護師、所属する施設共に増加しています。今後も、より受講しやすい有意義な研修の企画運営に努めるとともに、専門性の高い知識や技術を地域に提供できる場面を推進し、県内の訪問看護の質向上に取り組んでいきます。

❺管理者の支援について

管理者については、抱えている業務の多さ、経営の難しさ、法人方針との調整など様々な問題があげられています。研修体制の充実、管理者同士の意見交換の実施、運営アドバイザー事業の活用等、地域における連携体制の充実にむけての方策が必要と考えています。

❻利用者による職員等への暴力・ハラスメントについて

2022年度新たに追加した調査項目です。訪問看護ステーションにおいては、「被害を受けたことがある」施設は68.9%、病院・診療所では33.3%でした。ハラスメントの対応策として、マニュアル整備や契約書の見直し、関係機関との連携が必要となっています。また、管理者を含む全職員がハラスメントに関する知識を深めること、利用者への啓発、制度上の対応策等について、研修機会の確保、行政を含む関係機関と具体策の検討に取り組んでまいります。



2022年度訪問看護実態調査より

訪問看護師の育成体制整備支援事業

訪問看護推進課・訪問看護総合支援センター

訪問看護提供体制の安定および推進を支援する拠点として訪問看護総合支援センターを設置し、間もなく2年になります。主要課題は、❶訪問看護事業所の運営支援❷訪問看護に従事する人材の確保❸訪問看護の質向上❹訪問看護ネットワークの推進です。

前述のとおり、安定的な訪問看護師確保のためには採用と定着が重要です。今年度新規事業として「訪問看護師の育成体制整備支援事業」を実施し、施設全体で取り組む育成体制の整備を目指しています。採用された看護職員が経験を活かし、新たなフィールドでも自信をもって訪問看護を継続できること、また全ての訪問看護師が目標を明確にして業務に取り組むことで、利用者様に質の高い訪問看護を提供できるよう、全6回の研修会を企画し58施設の受講があります。

新潟青陵大学のご協力を頂きながら、社会人に対する教育方法や滋賀県版教育体制について学び、「新潟県版訪問看護師育成ツール（案）」を作成しました。2月には、各施設で取り組んだ成果を共有し、次年度に繋げてまいります。

訪問看護の魅力を語る

新潟県受託事業 **訪問看護従事者研修会（新任者編）** 全日程を受講されたお2人に訪問看護への思いを語っていただきます。

アウトリーチで看護を広げる

新潟県立柿崎病院（上越市） 病棟看護師 秋山 公子

アウトリーチとは、「手を伸ばす」という意味で、医療が病院で「待つ」から、地域や生活の場に「出向く」ことで助けを必要としている人たちを支援する活動です。私は、東日本大震災で医療活動をした時、訪ねることで孤立にさせない支援の大切さを学びました。

昨年柿崎病院に異動し、初めて訪問看護に携わりました。訪問車に乗って走ると、空調完備の病棟では感じられない気温や天気、四季折々の季節の変化を肌で感じることができます。そして訪問回数を重ねて利用者・家族との信頼関係を構築すると、その方々の「素の顔」が拝見できる喜びがあります。アウェイの病院ではよそ行きの顔しかしない人も、ホームの家にいる時はその人らしさが表れます。かかりつけナースのような存在として、信頼され頼られることは、訪問看護の魅力の1つです。

病院看護では医療を中心に生活を行いますが、在宅では生活の一部に医療があるため、病院以上に「個別性のある看護」が求められます。特に、在宅介護で大きな負担になっているのが排泄介助です。訪問時、使用するおむつの種類が異なり、漏れを防ぐため当て方も様々で、皮膚トラブルや便秘予防もそれぞれ違うことに気付きます。利用者のQOLと家族の介護負担の視点から、行動には何か理由があると考え、一人ひとり違うことを受け容れると寄り添う看護が実現します。

病状悪化が懸念された利用者が、訪問看護で適切なアドバイスや助言により、再入院せずに地域で生活が継続できることそのものが成果です。病院では退院することや病気を治すことが目標ですが、訪問看護には医療と生活の両方から「その人らしい暮らし」を支援する大切な役割があります。自由と生きがいは、その人らしく生を全うするのに欠かせません。身近な立場で「想いを継続」し、繋いで支える訪問看護が熱くなることで、誰一人取り残されない医療が目指せると考えます。

撮影者「奥様85歳!♥」
（ご本人、奥様、娘様の同意を頂き写真掲載しています）

家族の立場から訪問看護師になって

訪問看護ステーションふくいく（阿賀野市） 訪問看護師 細矢 雅弥

赤ワインを傾け夕食に残ったおかずを食べながらジブリの「紅の豚」を観る。亡くなった母の日課です。

母の看取りは私が在宅看護に興味を持ったきっかけでもあります。

母が亡くなり、ふと思い出して同じようにワインを飲みながら「紅の豚」を観ることがありました。すると海外旅行をしたようなちょっとだけ贅沢な気分になりました。そして母はみんなが寝静まった後、こんな贅沢な時間をこっそり過ごしていたことを知りました。

母は乳がんが再発し看取りの方針となりました。家に帰ることを希望し、医師や訪問看護師、当訪問看護ステーション管理者でもある姉の支えもあり最期の4時間前まで家で過ごしました。

エンゼルケアは姉と二人でさせていただきました。

父が母のために選んだパジャマに着替えると、母の歳には合わないフリフリの襟の可愛らしい人形柄。でも手触りの良いコットンのパジャマ。父のセンスと母への愛に笑ってしまいました。悲しいはずなのに家族みんなが母の死を受け入れようとしていました。

母は自分の人生を家族とともに過ごし生き抜いたんだと思います。母との最期の時間がなかったら今思い出す母は病衣で病室の天井を見上げ、病と闘うだけの母だったかもしれません。

生前、「私の人生もう終わりなの?」と話していたと姉から聞きました。

それは悲しみや後悔から出た言葉と思っていたのですが、訪問看護に従事して、母のあの言葉は毎日がいいものだからこそ出る言葉だったのかもしれないと今になって感じます。

在宅療養では病院にある環境はありません。頼れるのは自分自身の看護技術であることに難しさを感じます。しかし、家族の立場から訪問看護師となり、在宅療養されている方が我が家で家族と過ごすときの表情と入院中の表情との差に驚くとともに、この仕事へのやりがいを感じます。

訪問看護師として利用者様、そのご家族が自分自身で人生を生き抜くための伴走者の一人になれればと思っています。

全身状態の観察と
バイタルサインのチェック

ナースセンター課より　令和5年度　未就業看護職員実態調査（速報）

Ⅰ 調査の概要

❶調査目的:新潟県内に住所を有し新潟県ナースセンターに登録している看護職の実態を調査し、未就業看護職の就業を促進することを目的とする。

❷調査対象:7月1日時点で「就職活動している」eナースセンター登録者2,492人

❸調査期間:令和5年7月24日～8月31日

❹調査方法:Web回答によるアンケート調査（メールアドレスのない登録者257人には調査票を郵送）

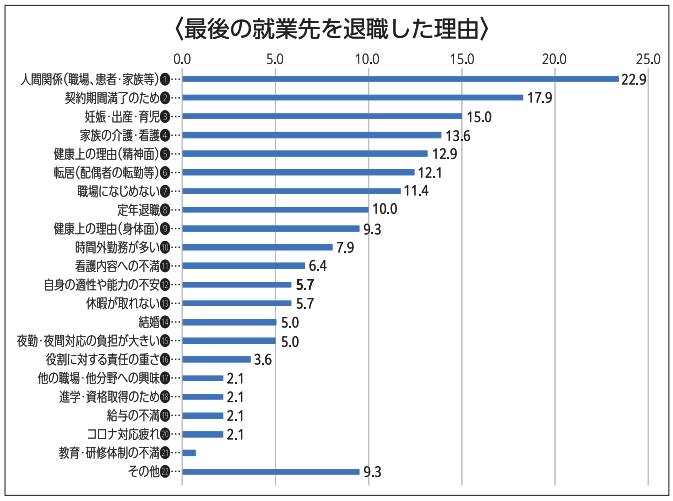
❺回答状況:有効回答数334人（回答率13.4%）うち未就業者140人

Ⅱ 調査結果

❶未就業者の属性（n=140）

年代別では、「40代」40人（28.6%）、「50代」39人（27.9%）、「60歳以上」39人（27.8%）であった。看護経験年数では、「20年以上」73人（52.1%）、「15～19年」23人（16.4%）と回答した者が多かった。未就業の期間では、「1年未満」60人（42.9%）、「1年以上3年未満」38人（27.1%）であった。最後に退職した雇用形態は、「正規職員」77人（55.0%）、「非正規職員」63人（45.0%）であった。

❷最後の就業先を退職した理由（上位3つまでの複数回答:n=140）退職理由は、「人間関係（職場・患者・家族等）」22.9%が最も多く、次いで「契約期間満了」17.9%、「妊娠・出産・育児」15.0%、「家族の介護・看護」13.6%であった。



❷ー①人間関係が難しかった相手（複数回答:n=32）

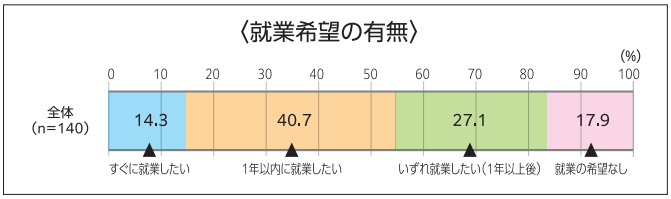
人間関係が難しかった相手は、「上司（看護職）」40.6%が最も多く、次いで「上司（看護職以外）」25.0%、「同期・後輩」21.9%であった。

❷ー②職場環境に馴染めなかった理由（上位3つまでの複数回答:n=16）

職場環境に馴染めなかった理由として、「職場の雰囲気・関係性が悪い」68.8%が最も多く、次いで「同僚職員に声をかけにくい」、「施設（所属部署）の方針・やり方に納得がいかない、受け入れられない」31.3%であった。

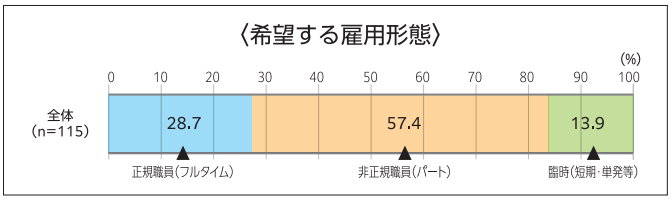
❸就職希望の有無（n=140）

就業希望については「すぐに就業したい」、「1年以内に就業したい」を合わせると半数以上であった。「いずれ就業したい（1年以上後）」を含むと全体の8割以上に就業希望があった。また、「就業の希望なし」は17.9%であった。



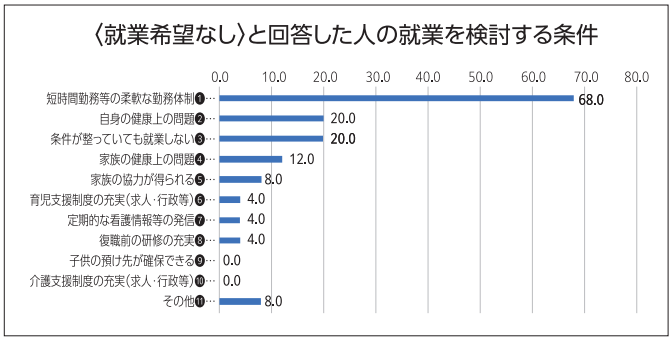
❸ー①希望する雇用形態（n=115）

希望する雇用形態は、「非正規職員（パート）」が57.4%と最も多かった。



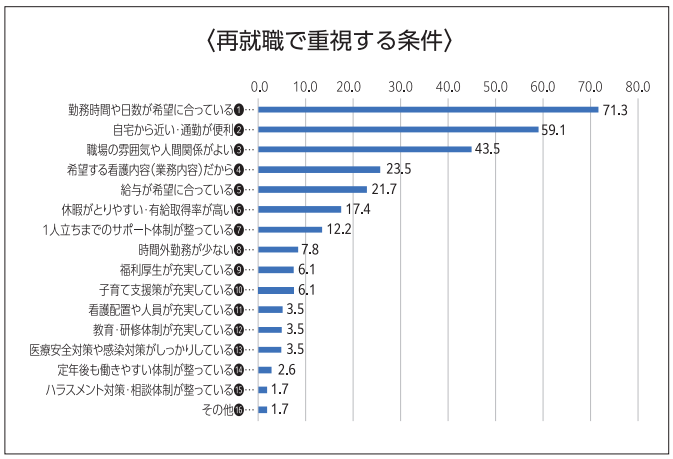
❸ー②「就業希望なし」と回答した人の就業を検討する条件（上位3つまでの複数回答:n=25）

就業を検討する条件は「短時間勤務等の柔軟な勤務体制」68.0%が最も多く、次いで「自身の健康上の問題」、「条件が整っていても就業しない」20.0%であった。



❹再就職先で重視する条件（上位3つまでの複数回答:n=115）

再就職先で重視する条件は、「勤務時間や日数が希望に合っている」71.3%が最も多く、次いで「自宅から近い・通勤が便利」59.1%、「職場の雰囲気や人間関係がよい」43.5%であった。



本調査にあたり、多くの看護職の方にご協力頂き感謝申し上げます。詳しい結果は、新潟県ナースセンターのホームページに掲載予定です。

令和5年度秋の叙勲受章おめでとうございます

長年のご活躍に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます

瑞宝双光章

佐藤　順子様

元魚沼基幹病院副院長兼看護部長

令和6年度予算に対する要望書を知事に提出

1月10日、斎藤会長が花角知事に県の令和6年度予算に対する当会の要望項目を説明するとともに、能登半島地震の被災地である石川県内への災害支援ナースの派遣に向けて、関係機関等と調整中であることを報告しました。

知事からは、日頃の当会の活動に対するお礼と、中山間地を多く抱える本県において、ICTを活用したオンライン診療等の実現などに向けて、地域医療や訪問看護の現場を支える看護職の皆さんに対する感謝と期待、並びに引き続き県政の推進に協力いただきたい旨のお言葉を頂戴しました。

要望の内容は以下の通りです

❶看護職員確保対策強化
❷在宅医療の推進に向けた訪問看護提供体制の整備への支援
❸ナースセンターの機能強化
❹健康危機管理体制の強化

プラチナナースの集い

人生百年まだまだ現役～プラチナナースのつどい～

専務理事 池田 良美

12月2日（土）新潟市では日中最低気温を記録する寒い1日となりましたが、会場内はプラチナナースの熱気に包まれていました。新潟県看護協会では初めてとなる会食後の講演や情報提供など「プラチナナースのつどい」が開催され26名の皆様より参加いただきました。参加者は第一線で活躍されている方々でしたが、今後も資格を活かして働き続けられる場、住民とのつながりや絆、色々な社会貢献の形があることを知っていただく機会の提供になりました。テーブルのご馳走に笑顔がほころび、リラックスした様子で会話が弾み、「ワクワクすることなく過ごしているが、ワクワクすることを探してみたい。」「テーブルの人達との交流が楽しく参考になった。」「来年もあるようなら他のプラチナナースにも紹介したい。」「他の施設の状況も聞くことができ有意義であった。」と親交も深められました。

〈プログラム〉

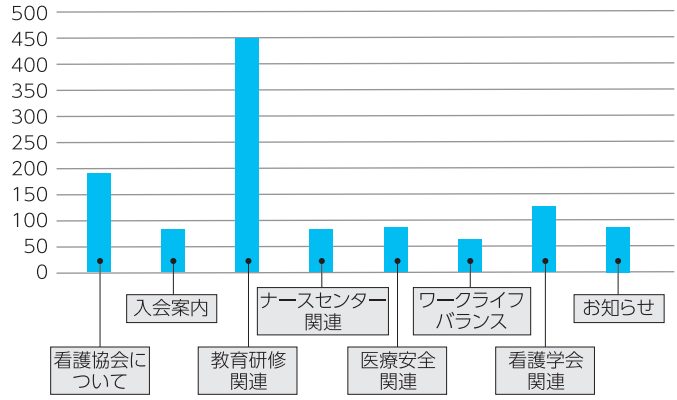
- 「身寄り問題」に挑む～NPOという看護師の生き方～
  NPO法人身寄りなし問題研究会代表　須貝秀昭様
- 新潟県の看護職の現状
  新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課副参事　帆苅久美様
- 学校看護師に関する情報提供
  新潟市教育委員会特別支援教育課巡回学校看護師　北井絵里夏様
- 看護協会からのお知らせ

ホームページアンケート調査結果報告

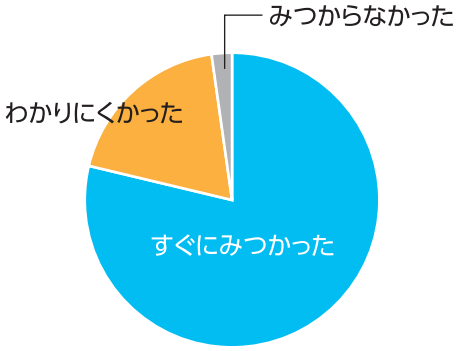
当協会では、ホームページをよりわかりやすく、利用しやすくするためにアンケート調査を実施しました。結果として、976人の皆様から貴重なご意見をいただきました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございます。

アンケートの結果、多くの人が教育研修関連や看護協会についての情報を求めていることがわかりました。また、概ねホームページの情報の見つけやすさに満足がえられている事が分かりました。

●利用されているページ（抜粋）



●探したい情報はみつかりましたか



貴重なご意見の中で、研修の検索で、終了後の古い研修が先に出てくるというご意見がありましたが、調査したところ使用しているスマートフォンによって表示が違うことがわかりました。文字が見にくい等の意見もあり、参考に改善していきたいと考えております。

アンケート結果の詳細に関しては、こちらのQRコードから読み取りご確認ください。

奨学金のご案内

奨学金を進学等にぜひご活用ください！

❶この奨学金は、新潟県看護協会の会員向け制度です。応募年度に初めて会員になる方も対象です。応募時までにご入会の手続きを完了してください。❷奨学生の採用は業務執行会議の協議において決定します。❸他の奨学金制度や給付金との併用も可能です。❹応募にあたりご不明な点は遠慮なく下記までお問合せください。

■対　　象／新潟県看護協会会員
①日本看護協会看護研修学校の在校生
②看護専門職に関する研修を受けようとする者
③准看護師として就業していた者が進学しようとする者
④看護学の研究研修で外国留学をする者
⑤看護系大学及び看護学校の学生であって、看護師免許取得後本会会員となる者

■貸与期間／貸与決定の月から卒業の月まで

■貸与金額／月額50,000円以内の希望額、ただし、⑤に該当するものは月額30,000円以内

■募集時期／4月1日～5月31日

■返還条件／無利子
1 最長で貸与を受けた期間の倍数の月数とし、その範囲内で任意
2 返還開始は貸与期間が終了した6ヶ月以内の任意
3 返還額は各月均等

●お申込み▶
新潟県看護協会HPにて応募年度の3月頃ご案内します。詳しくは以下をご確認ください。

https://www.niigata-kango.com/file/kyokai/gaiyo/dscr07-2.pdf

新潟県看護協会HPトップページ▶看護協会について▶協会概要▶情報公開▶7.その他-奨学資金貸与規則

●お問合せ▶
新潟県看護協会 総務課 奨学金担当
☎025-265-1225
平日／9:00～12:00・13:00～17:00
E-mail：ishida@niigata-kango.com

教育研修課より　お知らせ

2024年度　認定看護管理者ファーストレベル・セカンドレベル

■**セカンドレベル**……5月16日(木)～7月18日(木)　〈募集期間〉1月29日(月)～2月27日(火)
■**ファーストレベル**…7月25日(木)～10月18日(金)　〈募集期間〉3月11日(月)～4月9日(火)
※セカンドレベルは、募集期間が早まっていますのでご注意ください。

2024年度　医療安全管理者養成研修

■11月1日 (金) 対象／医療安全管理者、または1年以内に医療安全管理者になる予定の者で、日本看護協会オンデマンド研修(35時間)修了者

2024年度　新潟県看護協会看護学会

■11月5日 (火) 朱鷺メッセ会場

※すべての詳細につきましては、HPをご確認ください。

思春期電話相談員の増員に向けて

思春期保健相談士を目指すあなたを新潟県看護協会が応援します！

新潟県看護協会では思春期電話相談員の増員に向けて日本家族計画協会が主催する「思春期保健セミナー」の研修受講を支援します。

【対象者】…… ①新潟県看護協会員であること、②思春期保健相談士の資格認定後に新潟県看護協会の思春期電話相談員として活動していただける方

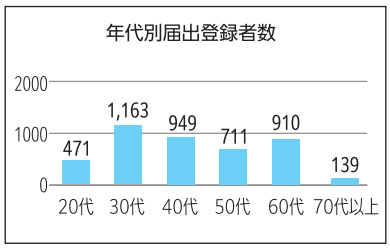
【負担額】…… 3万円、お申込順で年度あたり2名まで本協会が負担します。

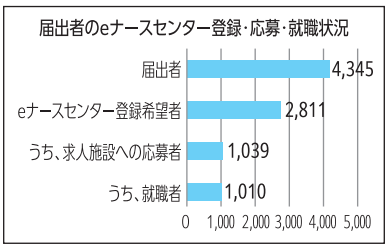
【お問い合わせ】…… 研修や申込等に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
公益社団法人新潟県看護協会　☎025-265-1225

看護師等の離職時の　届出のお願い

「看護師等人材確保の促進に関する法律」の改正により、看護職(保・助・看・准看)は、離職時に、ご自身の住所・氏名・免許番号などについて、ナースセンターに届出することが努力義務化されました。

◆届出総数:4,345人(2015年10月1日～2023年11月30日迄)





●パソコンから　●スマホから

看護師等の届出サイト
とどけるん

●施設代行入力もできます。

ご不明なことは、新潟県ナースセンターにご連絡下さい。☎025-233-6011
e-mail:niigata@nurse-center.net

◆届出の対象者【看護協会員か否かは関係ありません。】

●病院や診療所、介護老人施設、訪問看護、行政職場などを離職する免許を有する全ての看護職。
※次の職場が決まっている場合でも「届出」が必要です。
●保健師・助産師・看護師・准看護師の業に従事しなくなった時
●看護職の資格をお持ちで看護職以外の仕事に就いている方
●免許取得後、すぐに就業しない方

届出いただくと、ナースセンターから電話やメールで連絡があります。

e-ナースセンター(無料職業紹介)の紹介や就職相談、各種セミナーなどのご紹介・ご支援を行います。

ナースシップよりお知らせ

＊ 2024年度の入会の手続きはお済みですか？

新年度の研修受講をご希望の方は、申込締め切り時点で入会手続きを完了していない場合は非会員の受講料となります。登録には入会申込書の提出後2か月程かかりますので、早めの手続きをお願いいたします。会費納入の状況は会員専用ページ「キャリナース」ならびに「施設WEB」で確認できます。

●入会金／10,000円（初めて入会する方のみ）●新潟県看護協会費／7,500円（支部会費含む）●日本看護協会費／5,000円

＊ 入会手続きはWEBから簡単に！

WEB入会は会員専用ページ「キャリナース」の **新規入会・再入会** をクリック！

郵送にかかる時間が短縮されて、入会手続きが早く完了します。

＊ キャリナースにご登録ください！

キャリナースに登録すると、
①登録内容の確認や変更ができます。
②資料室がご利用いただけます。
③研修会受講履歴の確認や証明書の発行も可能です。
④スマートフォンで電子会員証を表示できます。

登録は日本看護協会・新潟県看護協会

HPのここをクリック➡ 会員専用ページ キャリナース

ナースシップ QRコード

＊ 登録内容に変更はありませんか？

届出がないと大切なお知らせや情報が届かなくなってしまうことがあります。
登録内容に変更があった場合は、①～③のいずれかの方法で届出をお願いします。

①キャリナースから変更する。
②「会員データ変更届」（新潟県看護協会HPよりダウンロード可）を新潟県看護協会へ郵送またはメール、FAXする。
③所属変更により会費納入方法が口座振替になる方は、「都道府県看護協会・日本看護協会入会申込書/会員情報変更届」または「キャリナース」より口座情報の登録をお願いします。

お願い ご登録内容等の確認のために、お問い合わせをさせて頂く場合がありますので、キャリナースにキャリアメールをご登録の方は、『@niigata-kango.com』からのメールを受信できるよう、設定をお願いいたします。
※入会に関するお問い合わせ先：公益社団法人新潟県看護協会　総務課　会員登録係

BOOK 2023.12～2024.2 新刊図書

1	看護学テキストNiCE看護と研究一根拠に基づいた実践 編集 西垣昌和／南江堂
2	志なき医療者は去れ! 岩永勝義、病院経営を語る 尾形裕也 著／日本看護協会出版会
3	令和5年版　看護白書 公益社団法人日本看護協会 編／日本看護協会出版会
4	訪問看護ステーションの顧客管理と人材管理・育成 公益財団法人 日本訪問看護財団 監修／日本看護協会出版会
5	看護学生の勉強と生活まるごとナビ自律的に過ごすための23のレッスン 執筆代表 片野裕美／執筆 森川晴美・岩崎直美・竹内あゆみ・福崎敬子・三浦雪春／日本看護協会出版会
6	【新版】助産師業務要覧　第4版 Ⅰ 基礎編 福井トシ子・井本寛子 編／日本看護協会出版会
7	【新版】助産師業務要覧　第4版 Ⅱ 実践編 福井トシ子・井本寛子 編／日本看護協会出版会
8	【新版】助産師業務要覧　第4版 Ⅲ アドバンス編 福井トシ子・井本寛子 編／日本看護協会出版会
9	「尺度」を使った看護研究のキホンとコツ 第2版 執筆 鳩野洋子・長聡子・前野有佳里 総監修・執筆 川本利恵子／日本看護協会出版会

編集後記

今年度も多くの皆様にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。今後も看護協会員皆様のお役に立てる情報を発信できるように一層努力してまいります。

広報委員会：本間／西潟／安達／松宮／佐藤／佐野
片野／渡辺